

特養の 行事

そよ風ユニット (あんりシヨートステイ)

■外出レクリエーション

二月二日かなんぴあにて開催されていた河南町ボランティアアフェスティバルに行ってきました。イベント会場では電子ピアノ・榎野仁美さん、バイオリン奏者・田中稚佳さん、ソプラノ・石田恭子さんの演奏を聴きに行きました。皆さん全員で声を合わせて歌い、楽しみました。その後は会場を見て回りました。その他にもお菓子を購入し、それぞれに楽しんでくださいました。



射的のゲームもあり、正直難しいのではないかと感じていたのですがなんと全部命中し一等でした。

その後もひな祭り前ということで、折り紙で飾りを作らせてもらいました。それぞれ好きな折り紙を選び、教えていただきながら折り、顔を書いて貼り付けて完成です。近くではありませんが外出することを楽しんでいただけたら嬉しく思います。そよ風ユニットではまたこのような外出の計画を考えています。



葛城ユニット

■ホットケーキ作り

準備の段階から入居者様に手伝ってもらい、卵を割ったりかき混ぜてもらったり、フライ返しで返してもらったりしました。上手に焼き上がりました。その後、トッピングにアイス、バナナ、ジャム、



あん二等の計十三種類用意して好きな物を食べていただきました。全種類のせて食べられた方もおられ、大変喜ばれていました。

上手に焼いてくれました♪



二上ユニット

■誕生日会

一月十六日は八十三歳のお誕生日でした。外食よりもテレビを見ながらゆつくりと食べるのが好きなようで、お誕生日に提供しようという計画を立てました。

日頃「何か食べたいものありませんか？」と聞くと「マグロとかつおのたたきが食べたいな」とよく言われていました。大好きな熱燗を味わいながらのお寿司。最高や」と嬉しそうに召し上げられました。



熱燗とお寿司いかがでした??

ゆりり撫子ユニット

■誕生日会

三月一日に百歳になられました。お誕生日のお祝いとして古川様の大好きなお寿司を食べに行きました。新聞の広告にお寿司のチラシがあると必ず手に取り「美味しそうやね」「これ食べたい」といつもニコニコしながら言っておられました。店内に着くと回転するお寿司を眺めながら「マグロ」と言われマグロをおいしそうに召し上げられました。マグロ、大トロ、ハマチ、アナゴなどを食され「おなか一杯」と満足された様子でした。



お寿司たくさん食べてお腹いっぱい

在宅部門

■在宅介護教室

第一回 自立と在宅ターミナルについて 第二回 排泄介助について 第三回 体位交換・移乗介助について 第四回 嚥下(飲み込み)について 各回ともに約二十名の方に「ご参加いただきました。参加された方は皆様熱心に話を聞かれました。介護教室では一方通行の講義ではなく、参加された方にも実際に体験していただいたり、一緒に考えていただけるような教室としています。今年度も、職員の知識や技術を地域の皆様に還元していけるように取り組んでいきますので、皆様のご参加をお待ちしております。



自分は『若い』と信じてと『健康』になる?

少し前のことですが、ロンドンの大学で50歳以上の男女に対して「自分は若い」と感じている人の健康調査をしました。



そうしてわかったのですが、年と共に増えてくるさまざまな生活習慣病・心臓疾患・糖尿病・脳卒中・関節炎などガンを除いて「自分は若いんだ」と思っているの方が生活習慣病等の症状の程度が軽かったのだそうです。さらに、8年後の死亡率も調査したところ、「自分は実際の年齢よりも老けている」と感じている人の死亡率は24.6%だったのですが、「自分の年齢よりも若い」と感じている人の死亡率は14.3%でした。つまり、「普段から自分は若いと思っている人は、健康で長生きをしている。」ということなんです。ただ、「若いと思っているから健康」なのか「健康だから若いと思えるのか」は分からないですけども・・・。「自分は若いんだ。」と思っても誰にも文句は言われないので、老けてきたら「自分は若いんだ」という妄想にふけてみてはいかがでしょう。

喜多野 政佳



- 第1回 5月19日(日)10:30~12:00 「在宅介護サービスを受けるまでの流れ」
- 第2回 7月21日(日)10:30~12:00 「在宅で受けられる介護サービス」
- 第3回 9月8日(日)10:30~12:00 「入所について」
- 第4回 11月10日(日)10:30~12:00 「終活について」

※参加無料 定員30名様です 担当者:島尾・伊藤 場所:特養あんり(デイフロア)

参加お待ちしております

令和元年度
介護教室のご案内

